

MS153-14001/2/3

GRスポーツマフラー

取付・取扱要領書

この度はGRスポーツマフラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず専門の整備工場で行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

■ 品番・適合車種

品 番	適合車種	型 式	年 式	備 考
MS153-14001	GR SUPRA	DB42	‘19.05～‘20.09	3.0L RZ
MS153-14002	GR SUPRA	DB02	‘20.10～‘22.06	3.0L RZ
		DB06	‘22.07～	3.0L RZ AT車
MS153-14003	GR SUPRA	DB06	‘22.07～	3.0L RZ MT車

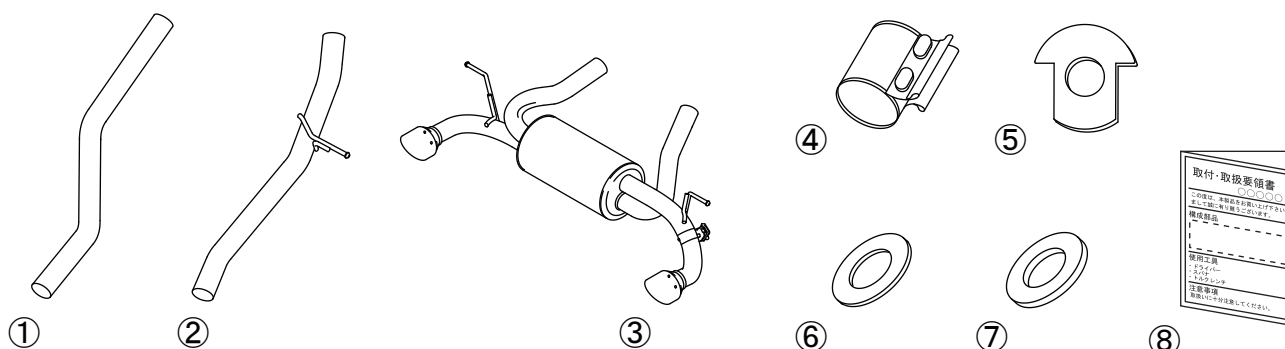
- ・ 再使用不可部品は、同梱されておりません。別途ご購入の上、必ず新品に交換してください。
(詳細は、本書 3/10 ページ ■取付けに必要な工具・保護具・消耗品 をご確認ください。)
- ・ 開封時に、必ず構成部品がある事、外観、傷、凹み等が無いことをご確認ください。
取付け後に不具合が判明しましても対応しかねる場合がございます。
- ・ 最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<https://www.trdparts.jp>

■ 構成部品

No.	品 名	個数	備 考
①	センターパイプ 左	1	
②	センターパイプ 右	1	
③	メインマフラー	1	
④	スリップジョイント(φ70)	4	MS380-14H06
⑤	スペーサー	2	2mm センターパイプ右用
⑥	スペーサー	4	2mm メインマフラー用
⑦	スペーサー	4	3mm メインマフラー用
⑧	取付・取扱要領書	1	本書

※ 本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付け上のご注意(取付け作業の方へ)

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満たしていますので、一般公道でも安心してご使用頂ける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、又は使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承ください。TCD製品以外のエアロパーツとは同時装着が出来ない場合がありますのでご承知おください。
- (2) 保安基準適合の為、取付けは純正と同様、触媒やシールド等を取外さず、必ず適合車種に取付けてください。

警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危機または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。

注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

警告

 やってはいけないこと

 必ず行っていただくこと

-  本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
-  本商品の分解・加工は絶対しないでください。破損や事故の原因となる場合があります。
-  取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。車両が予期せず動き、体を挟むなどの重度な事故の原因となります。
-  本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
-  取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。
-  車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm**(注1)を確保してください。
(注1:車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります)
-  車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合、路面との干渉にご注意ください。

注意

-  本商品の交換、取付作業は必ず設備の整った専門の整備工場で行ってください。
-  交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
-  本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行い、同時に取付け部位に保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
-  取付け作業は、必ずエンジンが冷えていることを確認してください。エンジンルーム、マフラーが熱いとヤケドをするおそれがあります。
-  取付け後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合は直ちにご使用を中止してください。取付け部分や本体に変形や破損、故障が生じる場合があります。必ず整備工場にて点検を受けてください。
-  本商品取付け後、走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や破損の原因となる場合があります。整備工場にて点検を受けてください。

取付けが終わったら

-  取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
-  作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
-  本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
- 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。



■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図	1
2. 取付け上のご注意(取付け作業の方へ)	2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図、仕様	3
4. 取付け要項、取付け完了後の点検、注意事項	4～10

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具 ・ トルクレンチ ・ ポンチ ・ 軍手 ・ 保護シート ・ 保護テープ
- ・ SST (BMW No.0 496 469 (00 2 220)) SST09200-WA600

◎再使用不可部品

- ・ ボルト(90118-WA377) 1個 ・ ナット(90118-WA264) 1個 ・ ナット(90118-WA063) 5個
- ・ 耐熱ビニールテープ(推奨:V9650-0484(灰色))

■ 保証について

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

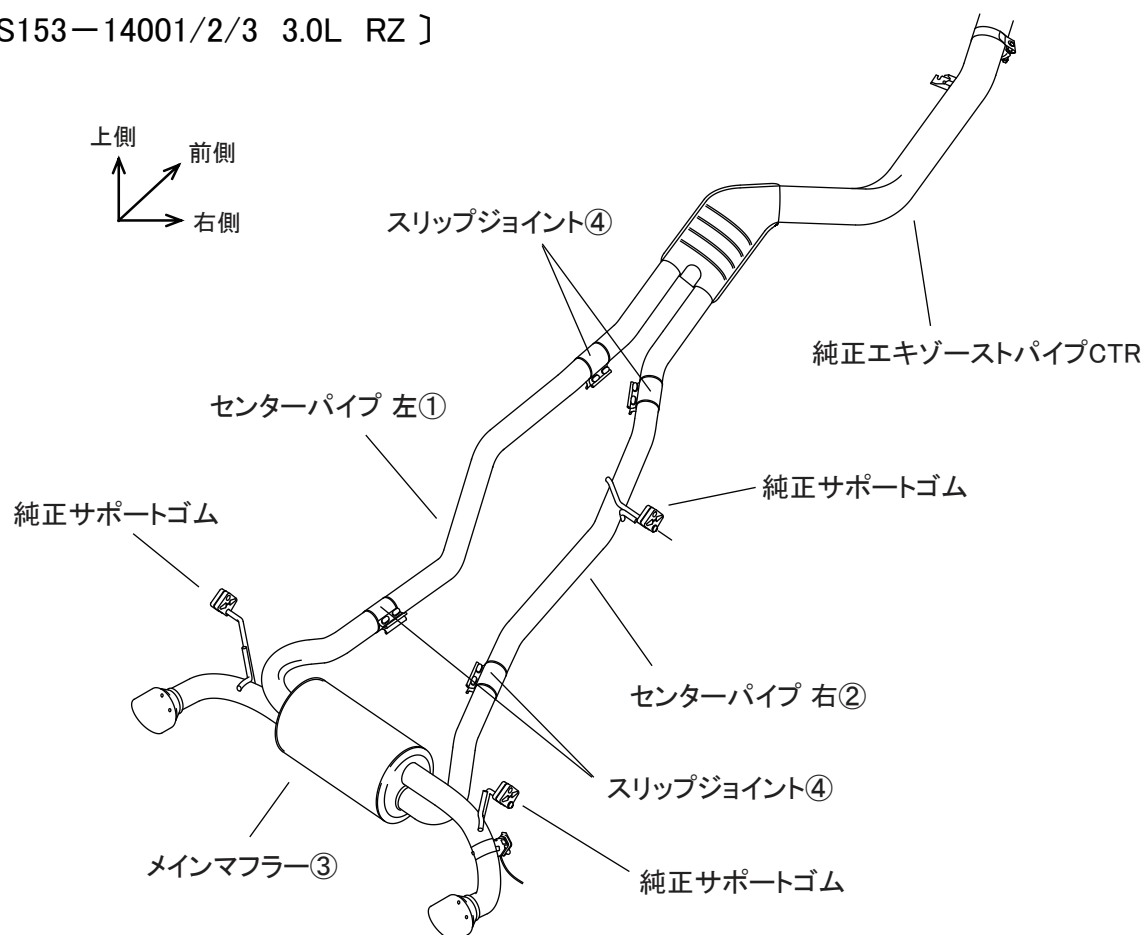
(1年または 20,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

[MS153-14001/2/3 3.0L RZ]



■ 仕様(SUS材)

品 番	センターパイプ左:パイプ径	センターパイプ右:パイプ径	出口バツフル
MS153-14001/2/3	φ 70	φ 70	φ 110

■取付け要領

⚠警告

- ・エンジンが熱い状態のときには、火傷のおそれがあるため高温部に触れない。
 - － 部品の温度が下がったことを確認して作業する。
- ・重量物取り扱いの注意事項
重量のある部品は、部品落下によるケガが破損につながるおそれがある。
 - － 重量がある部品は、複数人で作業する。
- ・けがの危険あり。
 - － 部品の重心に注意する。
 - － スクリュージャッキ等を使用して部品を支持する。
- ・切断用SSTおよび切削部品から生じる切り粉。
 - けがの危険あり。
 - － 適切な保護具を着用して作業する。
 - － 保護メガネおよび保護手袋を着用して作業を行う。

□マフラー取付準備

該当車両の修理書に従い、車両からエキゾーストパイプASSYを取りはずし、切断加工を行ってください。

1. 周辺部品を取りはずしてください。
 - (1) リアフロアサイドメンバカバーLHを取りはずしてください。
 - (2) リアフロアサイドメンバカバーRHを取りはずしてください。
 - (3) フロアパネルブレースRRを取りはずしてください。
 - (4) アンダボデープロテクタRR LHを取りはずしてください。
 - (5) アンダボデープロテクタRR RHを取りはずしてください。
2. テールパイプ右側付近にある、アクチュエータコネクタのロックを解除し、コネクタの勘合をはずしてください。
3. サポートゴムホルダ(4カ所)のナットを取りはずしてください。
4. フロント側接続部のナットを緩め、純正エキゾーストパイプクランプを取りはずしてください。
5. 複数人でエキゾーストパイプASSYを取りはずしてください。
6. エキゾーストパイプASSYからアクチュエータASSYを取りはずしてください。



アドバイス 取りはずしたアクチュエータASSY、アクチュエータASSY固定用のボルトは、再使用しますので破損や紛失がないよう、十分に注意して保管してください。
アクチュエータ部に付いていたブラケット、ワイヤースプリングは使用しません。

7. 純正エキゾーストパイプASSYの切断加工を行ってください。(P5 解説図参照)
 - (1) エキゾーストパイプの切断位置を示す小さなへこみ(マーク)に合わせ、パイプに対して直角に切断してください。(図1, 2)
マークがない場合は、エキゾーストパイプの切断位置上流側、パイプ曲げ部の断面形状が変化している部分の境目から右側は60mm、左側は70mmの位置でパイプに対して直角に切断してください。(図3～5)

使用工具: SST(BMW No.0 496 469 (00 2 220)) SST09200-WA600

- (2) 切断後、切断面の内側及び外側のバリを除去してください。切断面のバリ除去が不十分ですと、排気漏れの原因となる場合があります。

<< 解説図 >> *すべて車両下側より見たものです。

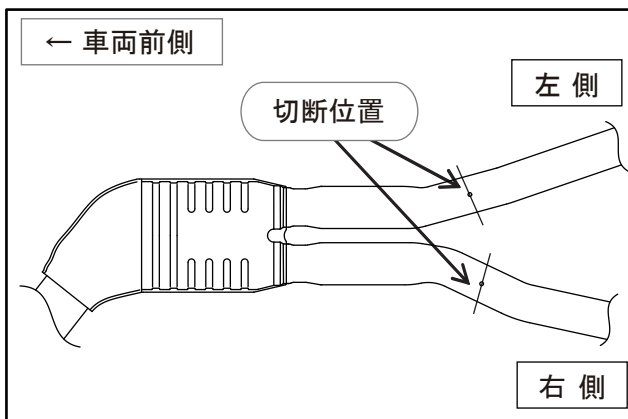


図1 エキゾーストパイプ ASSY の切断位置

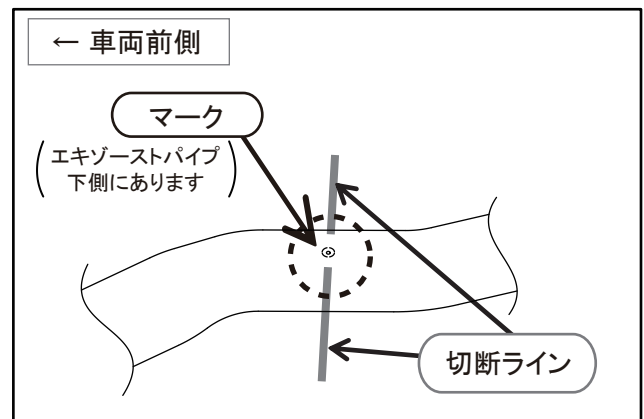


図2 エキゾーストパイプ ASSY のマークと切断ライン (左右共通)

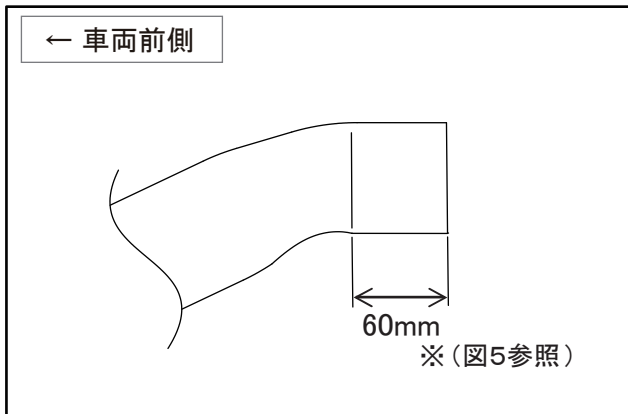


図3 エキゾーストパイプ ASSY 右側の切断位置 (マークがない場合)

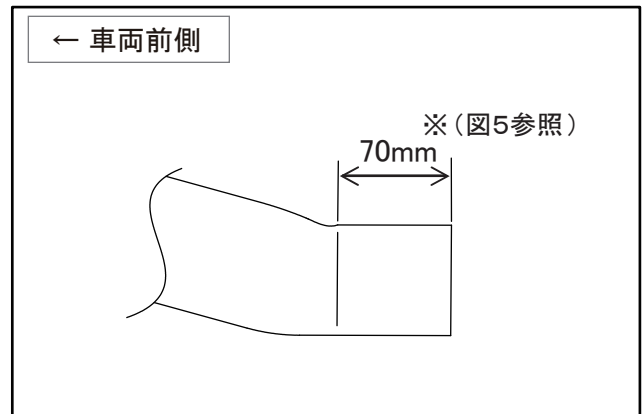


図4 エキゾーストパイプ ASSY 左側の切断位置 (マークがない場合)

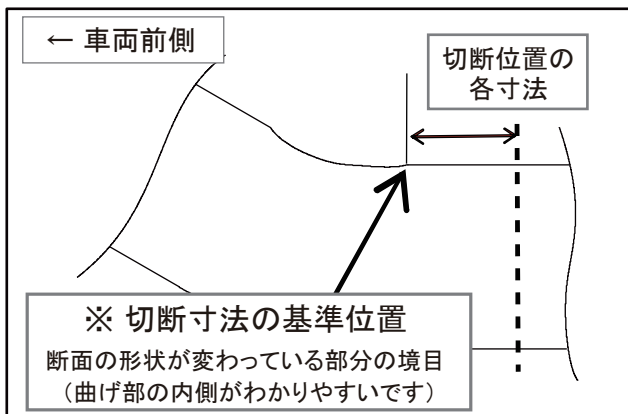


図5 切断位置の寸法基準位置の概略図

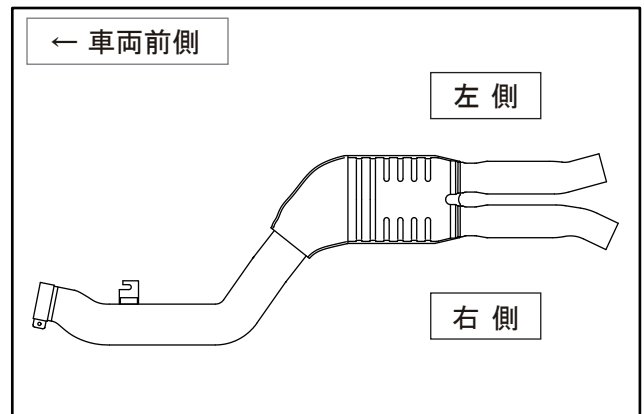
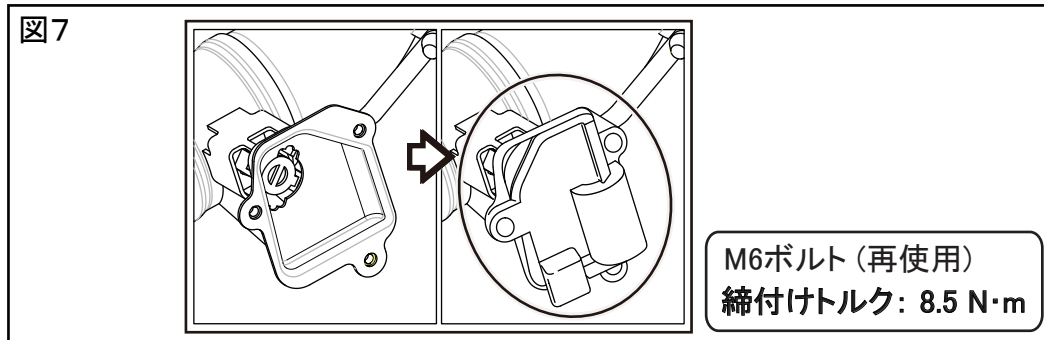


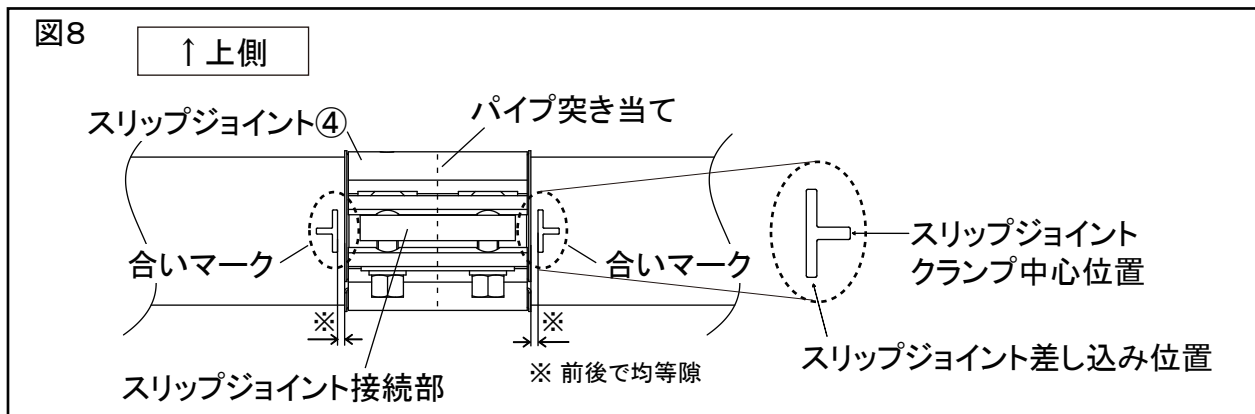
図6 切断加工後のエキゾーストパイプ CTR

□マフラー取付要領

1. 純正エキゾーストパイプASSYより取りはずしたアクチュエータASSYをメインマフラー③に取付けてください。(図7参照)



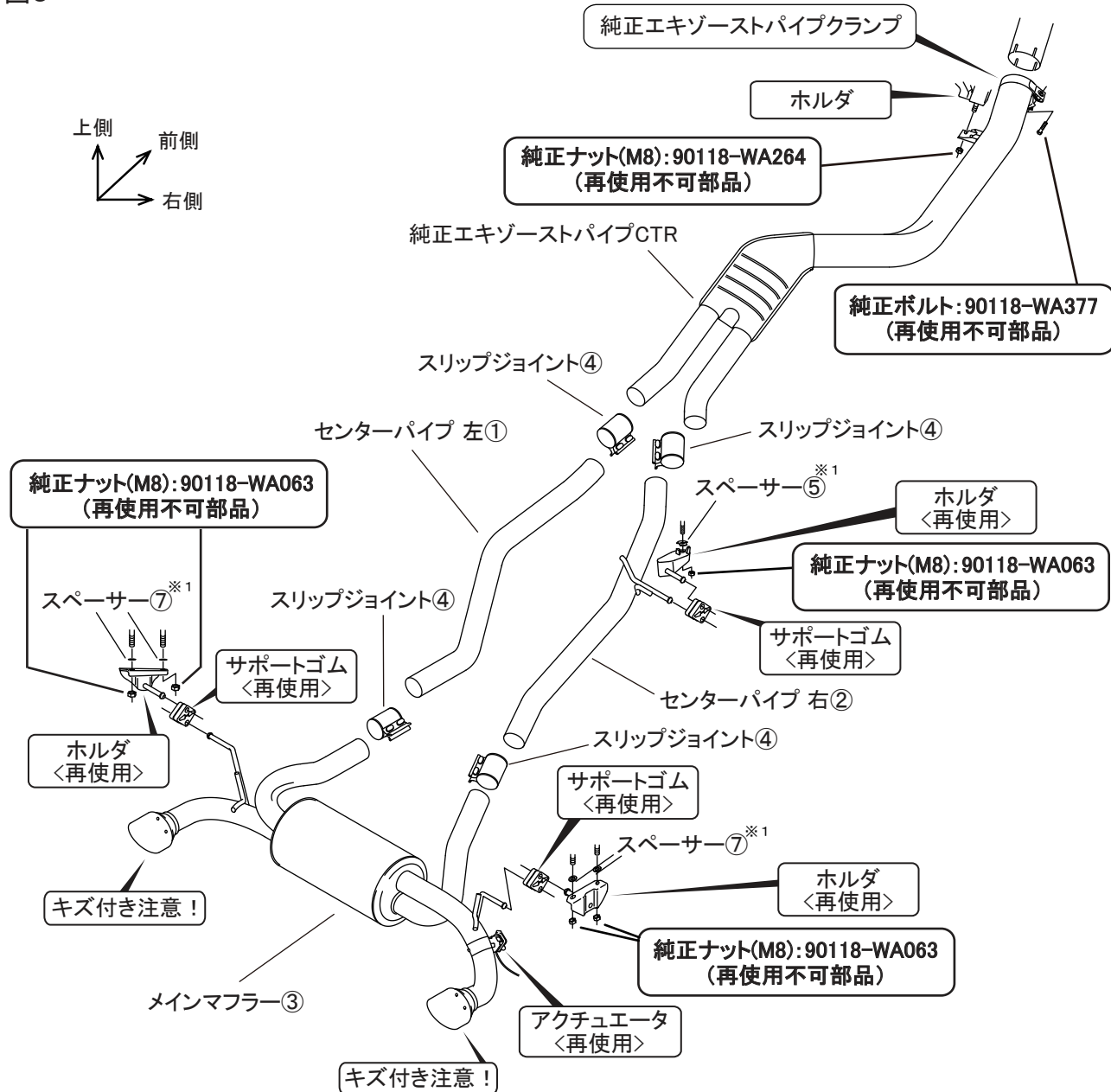
2. 切断した純正エキゾーストパイプCTRとセンターパイプ①②、メインマフラー③を作業台等、安定した場所で仮組みします。(図9参照)
 接続部の合いマークを図8のように合わせ、付属のスリップジョイント④で仮締付けしてください。その際、スリップジョイント内部でパイプを突き当て、※の隙が均等になるようにしてください。(締付けトルク15N・m)



⚠ 注意: 作業中、容易にスリップジョイント④が抜けないう、仮締付けを行ってください。

3. 仮組みしたマフラーASSYに、サポートゴム及びホルダを取付けてください。(図9参照)
4. スリップジョイント④が抜けないことを確認後、仮締付けしたマフラーASSYを複数人で保持しながら車両に取付けてください。
 車両とホルダの間には、クリアランス調整のため必ず付属のスペーサー⑤⑦を挟んでください。センターパイプ②側ホルダにはスペーサー⑤を1枚、メインマフラー③側ホルダ2ヶ所にはスペーサー(3mm)⑦を各1枚ずつ挟み、ナットでホルダを車両に固定してください。
5. 純正エキゾーストパイプCTRのホルダナットと純正エキゾーストパイプクランプを仮締付けしてください。
6. フロアパネルブレースRRを車体に仮組みしてください。

図9



※1 必要に応じて、サポートゴムホルダのスペーサーを増減し、クリアランスを調整してください。
その際、1ヶ所で最大2枚(5mm)を上限としてください。

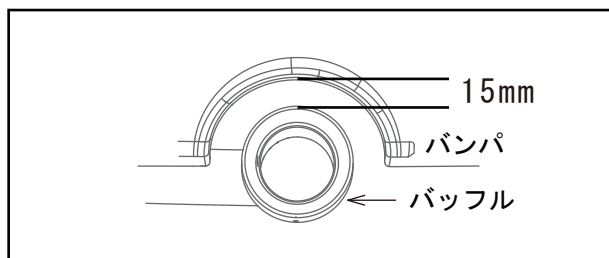
△注意：純正部品のエキゾーストパイプクランプ用ボルト[90118-WA377]、純正エキゾーストパイプCTRのホルダ用ナット[90118-WA264]、センターパイプ右②とメインマフラー③のホルダ用ナット[90118-WA063]は、再使用不可部品のため必ず新品に交換してください。

△注意：ボルトの締付けの際は、インパクトレンチは使用しないでください。

△注意：マフラーASSY取付け時、バッフル部にキズを付けないようにウエス等で保護して作業を行ってください。

△警告：脱着時にサポートゴムなどに潤滑剤等を使用した場合、確実に清掃を行い油脂分を取除いてください。
油脂分が残っていた場合、走行中に外れるなどの重大な事故の原因になります。

7. 各部干渉や取付け位置を確認し、バッフルとバンパのクリアランスが15mmとなるように調整してください。(右図参照)



アドバイス

接続部の合いマークは組付け時の目安にしてください。

スリップジョイント④のナットを緩め、センターパイプ①②を回転させることにより、バッフルとバンパのクリアランスや各部クリアランスを調整することができます。

センターパイプの左右で地上高に差が出る場合がありますが、正常です。

また、4で取付けたスペーサー⑤⑦を減らしたり、付属のスペーサー⑤⑥を追加することにより各部クリアランスを調整することができます。

その際、スペーサーは1ヶ所で最大2枚 5mmを上限とし、必ず最低地上高90mmを確保するように調整してください。

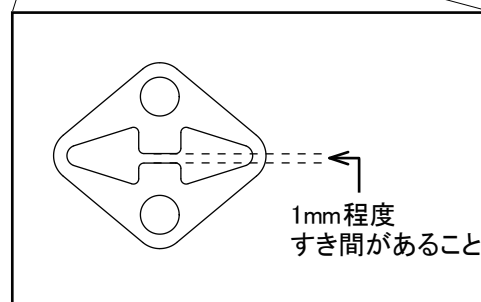
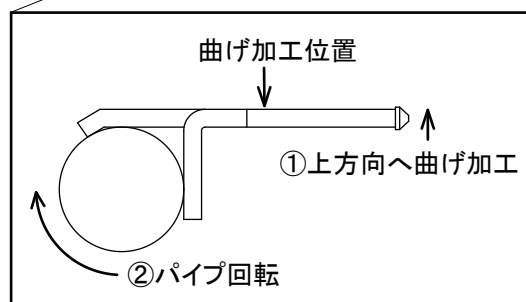
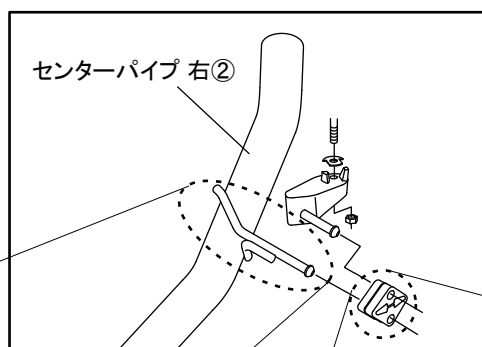


アドバイス

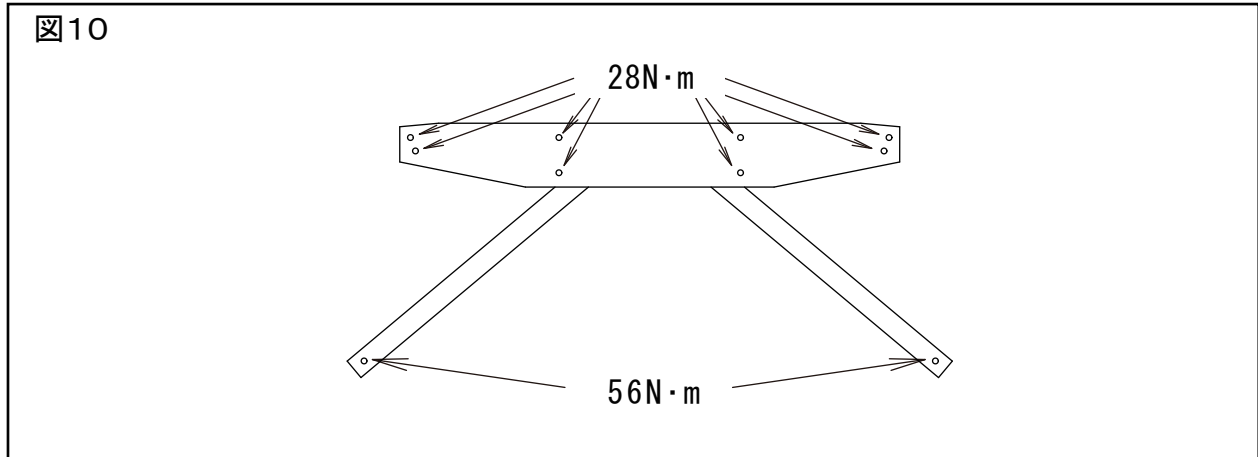
純正サポートゴムすき間確認

センターパイプ右②の純正サポートゴムにすき間があることを確認してください。すき間がない場合は、1mm程度とれるように下記の調整を行ってください。

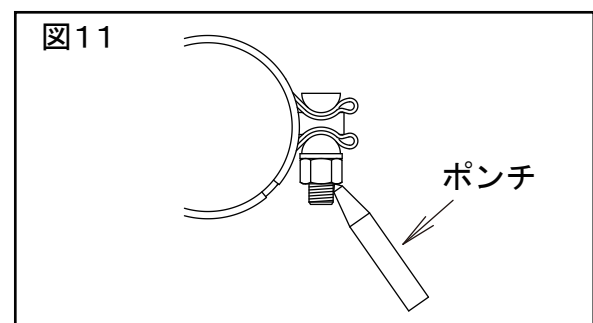
- ① フックを上方向に曲げる。
- ② フックが水平になるようにパイプを回転させる。



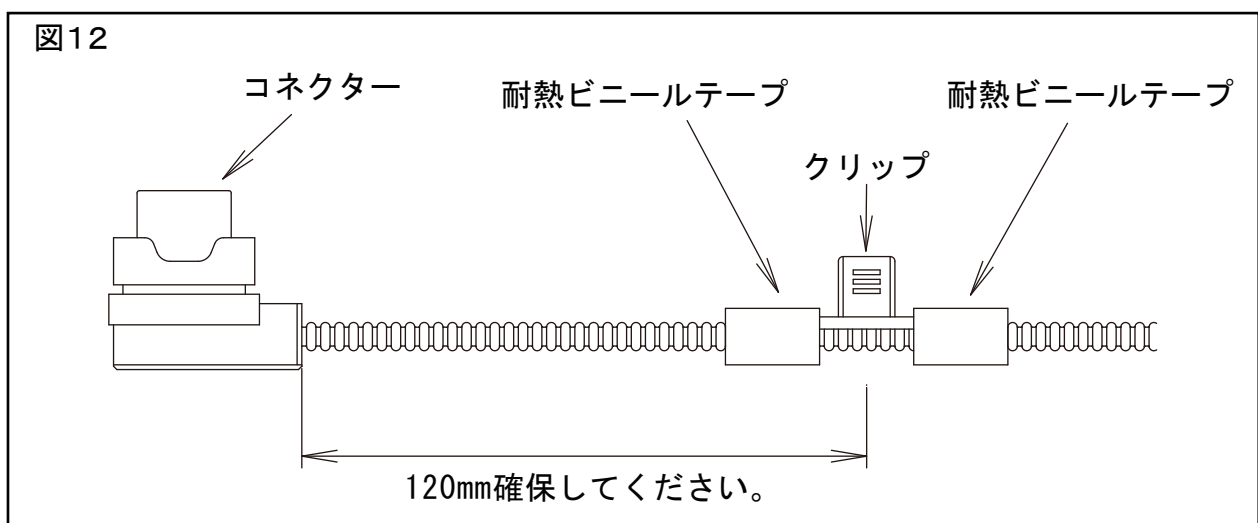
8. フロアパネルブレースRRを指定トルクで本締めしてください。(図10参照)



9. マフラー取付準備の際に取りはずしたメンバカバー2種、プロテクタ2種を修理書に従い取付けてください。
10. 各部干渉、取付位置やガタつき、テールクリアランス等を確認し、問題があれば 7の作業をやり直してください。
11. 各部問題がないことを確認し、仮締めした純正エキゾーストパイプクランプ、およびスリップジョイント④、各ホルダのナットを指定トルクで本締めしてください。(図13参照)
12. スリップジョイント④のナット全てにポンチを打ってネジ山を潰し、緩み止めの施工を行ってください。(図11参照)

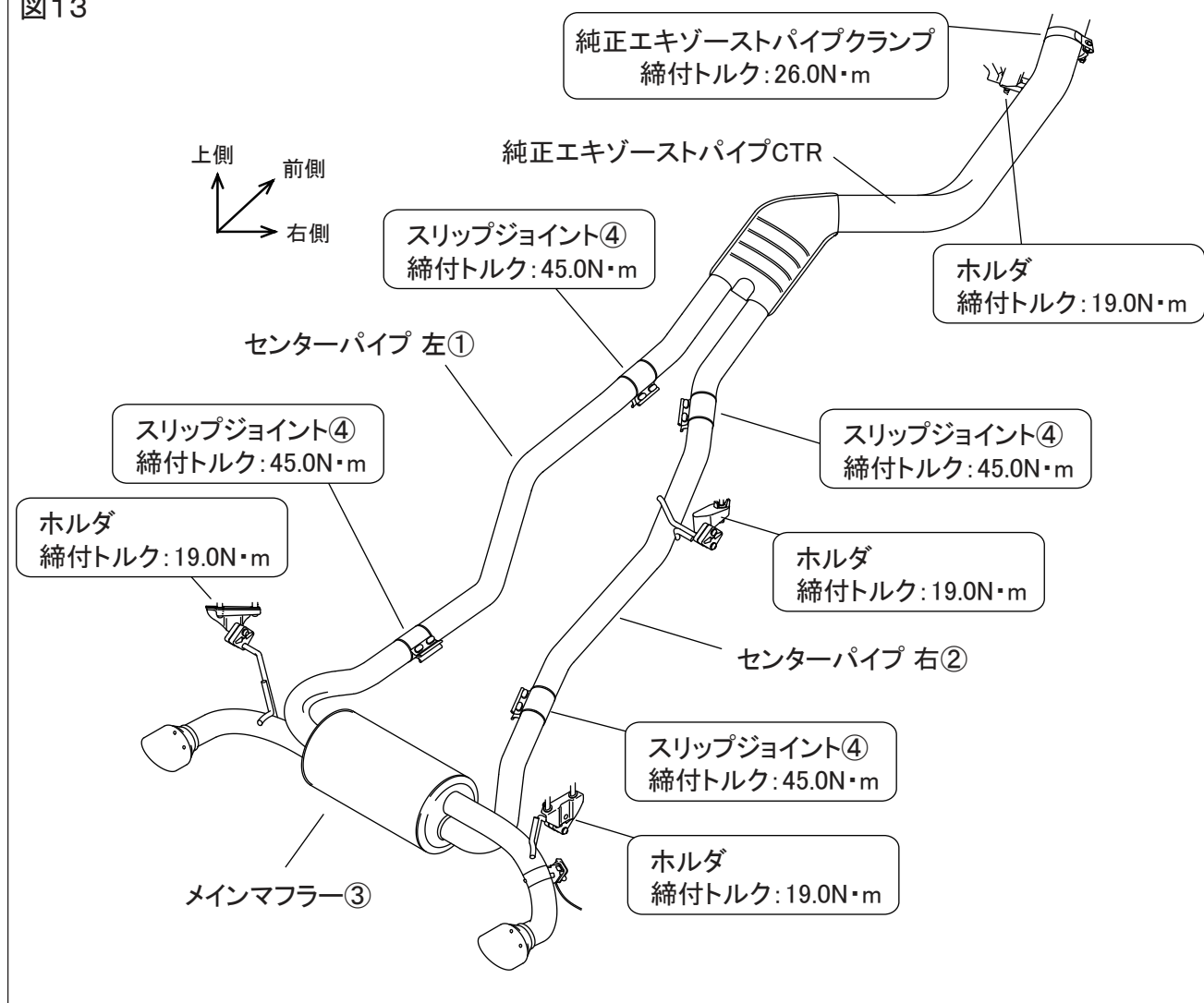


13. アクチュエータ配線の長さを測定し、図12を参考に120mm確保できていることを確認してください。足りない場合は、クリップの固定テープを剥がし120mm確保できる位置にずらし、新しい耐熱ビニールテープで固定してください。



14. コネクターをアクチュエータASSYに取付け、ロックしてください。

図13



■取付完了後の点検・注意事項

1. 取付け後数キロの走行を行い、各部に干渉が無いこと、異音等がないことを確認してください。
2. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

◆締付けトルク一覧表

取付部位	構成部品No.	締付けトルク	
純正エキゾーストパイプCTR(触媒側)	純正エキゾーストパイプクランプ	26.0 N・m	☐
左右センターパイプ(純正エキゾーストパイプCTR側)	スリップジョイント④	45.0 N・m	☐
メインマフラー(センターパイプ側)	スリップジョイント④	45.0 N・m	☐
メインマフラー(2ヶ所)・センターパイプ右 純正エキゾーストパイプCTR	ホルダ	19.0 N・m	☐

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

TEL: 050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp/>